

7月1日(月) 対大阪府労働部

怒りの示威行進に参加を

仲間たち。

年に二回きつぱり地獄をぢかせるよ

うになつて、きつ何年にならぬさうか。

かつて、釜では飯粒を糶らんに五月を

二仕事よりになつたら一人前だ。こいめ

れてはたどひだ、まじりやうに、梅雨時に

仕事の花をぶくことは以前からあつたが

その花をぶくは一月ほどではなかつたて

りつてた。

ところが、一九七五年以降は、一月ま

りも六月の方が仕事が少ないという状態

が続いている。しかも、六月の一月だけ

が花をぶくのではなく、四月から三月月

終までの花をぶくことになっている。そして、

多くの仲間が青かんぎや赤かんぎ、生糸

をさすめやせられつてゐる。

年末年始のマブシ期については、シブ

シブながらも、大阪府が釜や此の越年が

釜として臨時労働所を前進に開設して

いるのは、みんなよく知つてゐるであらう。



たうらに見じ。

しかも、一月よりマブシのきつり六

月についで、行政は何の対策も取らな

なく放置を続けている。

四月から六月にかけてのマブシ状態に

ついて、釜の働き人は、これまで行政に

対して何の要求もなかつたさうか。

声をあげないから、みよつて、行政

は釜のマブシ状態について知らないの

さうか。だから、何の対策もとられない

のさうか。

そんなことはない。かつて、釜や此の

青かんぎを眼につきつけ、対策を

引きたつために、府庁までデモをし、府

庁前の公園で三日三晩青かん、ハンスト

をくりこもあつた。

大阪府労働部の善後する業務内にあつ

ても、マブシをもらひきりものが、五、

六月に母が抜けて多しころから、この時

期に仕事が多量にだまらぬことは、をさす

くやせははなすのさ。

お付のないセンターに

にをかかめらば、行政が何の

対策もとらずに放置を続けているといふこ

とは、目撃を目撃してついでに

ついでに他ならぬ。

釜の新聞は、仕事量の年間合計の多

さ、三月の職いだけとりをけて、釜

の毎々のことを労働者と書き、マブ

シ状態の実態を被りかへす。行政はよ

うごんだころさうさう、そして、それを

誤んだ世間の人は、青かんぎをよきなく

さしぬ仲間たちを見せ、ナマケもの、

このしんをこぼす。

仕事が少ない時期に大きな花をまき

手配師への怒りが、センターで一台の

車に火をつけた。それを上回る怒りを

無差別な行政にぶつつけよう。

日雇の怒りも七、一示威行進に!

多くの仲間が参加をすすめてゐる。

堺区救之茶屋二一五二三

釜日労・争戦団

一九八五年六月二十日(日)大阪府堺区二一五

釜日労・争戦団の行政糾弾

の相更市な者談相 相談者却下を許すな!

6月24日(月)から6月29日(土)まで

85、梅雨の医療週間に結集を

朝8時〜9時半 医療センター前

仲間たち!! 医療週間も四日目を迎えた。たちたまよれはげけない。本来なら当然、あく強すと三日三日向、少しでも多くの仲間が結集を希望する。

昨日は十六名が市更相(相談)に行つた。昨日は十一時すぎに行つた。仲間に対し口々に面構もせずにタテ続けに四名も却下するといつた。結果に出た!! 居休み前といふことで午前中に来た相談者を早くカタブけてしまおうといふ市更相の急務を許し、又は行らない!!

結局、三名の入院を勝ち取つたが昨日の相談は二階で一相却下された仲間が三階に行つて再度相談すると自衛衛(自治)いし資金二〇〇〇円を渡すといつた。一階、良心的(道徳的)な対応と申うがもしよいか仲間、察せざる。

今日のアパシの時刻は仕事をしたくてもできなない。当然(当然)ドヤにも泊まれない。青カンせざるをえない。青カンすると体をこめす。そうすると仕事が出はじめても働けない。こつした(こつした)悪循環を繰り返さないかぎり、絶対か×だ。

医療週間ニュース才4号 釜ヶ崎医療連絡会議

西成区葎之茶屋2-5-23 釜ヶ崎解放会館2階 釜日労使付図 632-4273